



ツクツクボウシの音が遠くから聞こえ、ソメイヨシノの葉が赤くなっていました上空は今にも降り

出しそうな雲ゆきです。天気予報は、「大気の状態が不安定になっていて、所々でわか雨や雷雨があり

・・」ということだったので傘を持って出かけました。上の写真は1時間ほどして、百年の森の東側で撮ったものです。激しい雨で前方の雑木林が白く煙って見えます。この後、雷も鳴り始め、雨脚が弱まったところでこの日は中止にしました。



吸水するアオスジアゲハ

今にも降りそうな曇り空を見ていたら池の端を蝶が素早く飛んでいるのに気づきました。雄は良く吸水します。幼虫の食草はクスノキです。



キンシバイ

黄色い花で雄しべが梅のように沢山あることからついた名。



ギンヤンマのパトロール

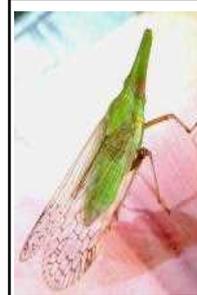
アオスジアゲハが吸水しているすぐ近くをギンヤンマがパトロールしていました。

ギンヤンマの「ギン」は銀色のことですが捕まえても銀色は目立ちません。しかし飛



んでいるギンヤンマの腹部の付け根は白く輝いて見えます。これが名前の由来となった「銀」のようです。下の写真が止まっている姿です。雄では鮮やかな青が目立ち

ます。その腹面は薄い灰色です。ここが、光を浴びて飛んでいる時、体の緑色に比べ白く映えて、ギンヤンマという名になったのだと思われます。



テングスケバ

体長 10 ミリくらい。鼻先が長く伸び、翅が透けています。



エンマコオロギ幼虫

コロコロリーという声を奏でるのもうすぐです。



オオニシキソウ 北米原産。コニシキソウより大型で立ち上がります。白く見えるのは花びらではなく蜜を出す緑色の腺体の付属体です。



キダチコマツナギ
道路を作る時の壁面緑化のため導入されたようです。昨今外来種が問題視されています。在来種を緑化に利用する仕組みをきちんと作ってこなかったつけが回ってきているのだと思います。

クルマバッタのめす



めすの翅の色は薄いですがおすの翅は濃いめで、めすにアピールしているのでしょう。飛ぶと黄色と黒の模様がはっきり見えます。



セグロイナゴ

背中かが黒く見え、セグロバッタともいいます。愛知池の手入れがされた良好な草地に生息しています。



ワレモコウ

もうすぐ咲き始めます



ネコハグモ

5^{ミリ}位の大きさで、葉の表面に糸を張って暮らしています。



鳥の糞

ヒメジャク蛾の一種の模様に見えました。



植物 ヒメジョン、アカツメクサ、タチスズメノヒエ、メリケンムグラ、ヘクソカズラ、タカサゴユリ、ハルシヤギク、オオニシキソウ、ワレモコウ花蕾、クサイ、ヤマイ、キダチコマツナギ、キンシバイ、クチナシ2種、ヤマハギ、イソノキ実、シラカシ実、**昆虫** アオスジアゲハ、キタキチョウ、ホシミスジ、ジャノメチョウ、メイガの一種、ミノムシ、ツクツクボウシ声、ニイニイゼミ声、キマダラカメムシ幼虫(ソメイヨシノの枝)、テングスケバ、ギンヤンマ、ヒゲナガカメムシ、ショウリヨウバッタ、ムネアカハラビロカマキリ幼虫、ショウリヨウバッタ、クルマバッタ、クルマバッタモドキ幼虫、セグロイナゴ、ヒナバッタ幼虫、コバネイナゴ、ショウリヨウバッタモドキ、ホシササキリ幼虫、エンマコオロギ幼虫、コオロギの一種幼虫、**クモ** ジョロウグモ幼体、ネコハグモ、サツマノミダマシ、ウロコアシナガグモ、アシナガグモの一種、**鳥・その他** カルガモ

次回は、9月10日(木) 午前9時30分、水資源機構P前集合、参加費100円